

令和7年度定期評価結果 地域がん診療連携拠点病院 長野市民病院

<良好な事項>

- ロボット手術について
高度な手術ロボット（ダ・ヴィンチ2台）体制が整えられていること。
- 生成 AI の導入について
生成 AI をうまく導入し、同意書作成やがん登録の補助等、院内の医療 DX に積極的に活用していること。
- 薬物療法について
 - ・薬物療法の取組（レジメン登録、ミキシング、ダブルチェック体制、B 型肝炎対策、カンファレンス実施、G8 を用いた高齢患者の評価とそれによる減薬提案等）を綿密に実施していること。
 - ・薬物療法センター所属の看護師ががん相談支援センター相談員研修基礎研修（1）、（2）を受講しており、様々な相談に乗ることができるようになっていること。
- 相談支援センター体制について
 - ・相談支援センターに「がんになったら手に取るガイド」と療養手帳が配置され、さらに二次元コードでダウンロードできるようにしている等、患者が治療に関わる知識に触れられるように配慮していること。
 - ・常勤の社会保険労務士が在籍しており、患者からの両立支援や障害年金相談に迅速に対応できること。
- 緩和ケアについて
 - ・入院時に親しみやすい名称の冊子（私のこころづもり）で ACP を実施し、患者が望む医療やケアについて、考えるきっかけに繋がっていること。

<指定要件に係る事項>

- なし

<指定要件を超えて検討を依頼する事項>

- 薬物療法について
 - ・特に外来において当日の化学療法実施のオーダーが多い。医療安全の観点からできるだけ避けるような工夫をしてもらいたい。
 - ・免疫関連有害事象（irAE）への対応の向上や迅速化、ならびに院内での事例蓄積に繋がるため、免疫関連有害事象対策チームの編成を検討してもらいたい。
 - ・認定資格を持つ薬剤師が3人在籍しているため、薬剤師外来を導入するなど更に活躍できる場を設けてもらいたい。
- 相談支援センターについて
相談支援体制が充実している。がんの告知の段階からさらに看護師が同席できる体制を整え、さらなる充実を図ってもらいたい。
- がん登録室への入室管理について
カメラ以外の入室管理方法等、更なるセキュリティの向上を検討されたい。